



科学技術振興機構報 第1573号

令和4年8月23日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel : 03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

低炭素社会実現のための社会シナリオ研究事業における 令和4年度研究提案募集（新規）について

JST（理事長 橋本 和仁）は、低炭素社会実現のための社会シナリオ研究事業における新規の研究提案募集を令和4年8月23日（火）から開始します。

今回の募集は、科学技術を基盤としたカーボンニュートラル社会の実現に貢献するため、望ましい社会の姿を描き、その実現に至る道筋や選択肢、戦略を示す社会シナリオ^{注1)}研究を大学において推進することを目的としたものです。

競争的研究費に係るこの事業の運営は、JSTが定めるプログラムディレクター（PD）が行います。また、提案された課題の選考や採択した課題の研究マネジメント・事後評価は、JSTが定めるプログラムオフィサー（PO）が、アドバイザーなどの協力を得ながら行います。

<募集期間>

令和4年8月23日（火）～10月11日（火）正午

研究提案公募の詳細については、別紙および下記ホームページを参照してください。

URL <https://www.jst.go.jp/lcs/funding/index.html>

<添付資料>

別紙：令和4年度新規「低炭素社会実現のための社会シナリオ研究事業」募集概要

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 低炭素社会戦略センター 企画運営室

〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3

武内 里香（タケウチ リカ）

Tel : 03-6272-9270 Fax : 03-6272-9273

E-mail : [lcs-koubo\[at\]jst.go.jp](mailto:lcs-koubo@jst.go.jp)

※お問い合わせは電子メールでお願いします。

令和4年度新規 「低炭素社会実現のための社会シナリオ研究事業」募集概要

1. 事業の趣旨

低炭素社会実現のための社会シナリオ研究事業は、日本の経済・社会の持続的発展を伴う、科学技術を基盤としたカーボンニュートラル社会の実現に貢献するため、望ましい社会の姿を描き、その実現に至る道筋や選択肢、戦略を示す社会シナリオ研究を推進するものです。

2. 募集の概要

JSTは、文部科学省が策定した研究開発戦略に基づき、2009年12月に低炭素社会戦略センター（LCS）を設置し、本事業を実施してきました。2020年10月には、内閣総理大臣により、2050年までにカーボンニュートラル社会を実現するという目標が明確に掲げられ、具体的方策の検討が加速する中、本研究の重要性はより一層高まっています。

そこで本事業では、人文社会科学系を含めた幅広い研究者の知の取り込みや研究人材の育成を図り、社会シナリオ研究のさらなる発展を目指し、これまでのLCSにおける研究の成果を踏まえ、さらに発展させる社会シナリオ研究の大学からの提案^{※1}を募集します。

本事業の競争的研究費に係る運営方針は、JSTが定めるプログラムディレクター（PD）^{※2}が決定します。提案された課題の選考や採択した課題の研究マネジメント・事後評価は、JSTが定めるプログラムオフィサー（PO）^{※2}が、アドバイザーなどの協力を得ながら行います。

※1 研究代表者となる研究提案者については、大学院を持つ国内の大学に所属していることを要件とします。研究代表者は、自身以外の研究室、あるいは研究機関に所属する研究者などからなる「共同研究グループ」を含めた研究チームの編成も可能です。共同研究グループについては特に要件を設けておらず、大学以外の公的研究機関や企業なども対象となります。

※2 PD 高村 ゆかり（東京大学 未来ビジョン研究センター 教授）

PO 森 俊介（JST 低炭素社会戦略センター 研究統括／東京理科大学 名誉教授）

3. 募集期間

令和4年8月23日（火）～10月11日（火）正午

4. 研究期間・研究費

研究期間 令和5年4月以降から最長令和9年3月まで

研究費 上限5千万円／年（間接経費含む）

※実際の研究期間・研究費は、研究課題の研究計画の精査・承認により決定します。

5. 本事業で公募する社会シナリオ研究

本事業では、次のような方針で、日本全体を視野に入れた「低炭素社会実現のための社会シナリオ研究」を募集します。「社会シナリオ研究」とは、科学的・定量的分析に基づいて、

社会シナリオ・戦略を策定するものです。

(1) 社会シナリオ研究には、対象とする技術の技術的成立性^{注2)}、社会実装された場合の二酸化炭素削減効果や経済性評価を定量的に行うことはもとより、社会実装に向けた戦略や解決すべき課題、実装の時期や導入の規模、導入に当たって主要な役割を果たすべき要素など具体的な社会実装のイメージを含むものとする。

(2) 「対象とする技術」の中には、カーボンニュートラルに寄与する原料リサイクルなど、ライフサイクルアセスメント(LCA)的視点を含む循環型社会に向けた提案も含まれる。

(3) 「社会実装に向けた戦略や解決すべき課題」の中には、研究開発目標やその目標の達成に向けた技術的な課題、その課題解決のための方策のほか、社会制度や規制など、対象とする技術を社会実装するために必要な政策提案も含まれる。

6. 提案の受付方法

「府省共通研究開発管理システム(e-Rad)」により受け付けます。

府省共通研究開発管理システム(e-Rad)ポータルサイト

URL <https://www.e-rad.go.jp/>

7. 用語解説

注1) 社会シナリオ

特定指標の定量的推移から社会的文脈の記述まで広く使われる用語だが、本事業では次の2点に言及したものと考えている。

- ① 2050年のカーボンニュートラル社会実現のため、その途中段階で、どのような技術がどのレベルで導入されているか、その導入経路が明示されていること。
- ② 各時間断面で社会と産業の全体像が定量的に想定されていること。もちろん、1つの研究課題があらゆる分野を包括することはできないが、目標実現の経路を定量的かつ科学的知見に基づきつつ、社会的な受容度や間接的便益も視野に入れた包括的な視点から描く、という社会シナリオの理念の共有が望ましい。特に、不確実性の伴う将来に対しては、さまざまな可能性を念頭に置いた複数経路の策定が重要である。

注2) 技術的成立性

技術が実現可能であることを何らかの根拠、あるいは資料により示せること。

8. お問い合わせ先

科学技術振興機構 低炭素社会戦略センター 企画運営室

〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3

武内 里香(タケウチ リカ)

E-mail: [lcs-koubo\[at\]jst.go.jp](mailto:lcs-koubo@jst.go.jp)

※お問い合わせは電子メールでお願いします。